

日本薬学会第 136 年会における優秀発表賞の受賞者について

平成 28 年 3 月 26 日から 29 日に横浜市にて開催されました日本薬学会第 136 年会において、下記の方々が優秀発表賞を受賞されました。(学年は発表時)

口頭発表の部

岩崎 亮 (薬学生化学分野 D2)

初期発生の血管形成におけるゼブラフィッシュ・プロスタノイド受容体の役割

鳥井 万純 (天然薬物学分野 M2)

インドネシア産 *Dysidea* 属海綿由来新規セスキテルペンの構造

芦刈 康彦 (分子薬化学分野 M1)

Lewis 塩基触媒を用いる位置選択的な不斉共役還元反応 : ar-ターメロンの短工程不斉合成

藤田 一成 (薬物活性学分野 B6)

PDI 阻害によるオレキシニューロンの病理学的変化

伊賀 望 (環境分子保健学分野 B5)

抗 HIV-1 活性を持つ宿主性タンパク質 glyceraldehyde 3-phosphate dehydrogenase によるウイルス前駆体タンパク質のキャプチャリング機構

ポスター発表の部

佐藤 奈々 (製剤設計学分野 M2)

間質圧の高い腫瘍への抗がん剤デリバリーを目指した自己会合型超分子 PEG 化プロメラインの構築

野原 寛文 (遺伝子機能応用学分野 M2)

GLP-1 受容体作動薬の呼吸器に対する作用解明と COPD 病態への影響